

# 「帝塚山学院大学研究論集」総目次・執筆者総索引 (第1集～第50集)

\*本総目次・執筆者総索引は「帝塚山学院大学研究論集」「帝塚山学院大学研究論集〔文学部〕」「帝塚山学院大学研究論集〔リベラルアーツ学部〕」に基づいて作成したものである。

\*論題については論文と刊行時の目次に差異が見られるものがあり、本総目次では論文に記されている論題を採択した。副論題を示す記号については「一」を用い、「一副論題一」の形式に統一した。

## 「帝塚山学院大学研究論集」

### 第1集 昭和41(1966)年11月

発刊によせて	森 磯吉
日本美術における秋草の表現 ——日本美術の様式的性格——	源 豊宗
19世紀フランス文学におけるダンディズムの問題(1)	西川 祐子
Wordsworth “Resolution and Independence” の芸術的価値への疑問 ——分析批評の試み——	今西 雅章
資本構造から見た低開発国問題への接近 ——特に東南アジアについて——	牧野 博彦
憲法問題の考え方	原 龍之助

### 第2集 昭和42(1967)年12月

素朴なる一真宗系寺院の形態について	日野 忠夫
宗因の俳句集について	浅田善二郎
19世紀フランス文学におけるダンディズムの問題(2)	西川 裕子 <sup>1)</sup>
<i>Romola</i> について	山本 節子
Chaucer の「騎士の話」	小林 清一
English Lyrics from Wyatt to Shakespeare ——A critical anthology with discussions and analyses——	今西 雅章
扁平足に関する研究(一)	田淵 哲
3帖台目の茶室	岡田 孝男
低開発国国家資本主義への一視点 ——特に東南アジアについて——	牧野 博彦
漱石の経済学	星野周一郎

---

<sup>1)</sup> 正しくは「西川 祐子」。

第3集 昭和43(1968)年12月

弓削皇子 .....	吉井 巖
木下順二の民話劇についての序説 .....	向井 芳樹
畏友田辺清市君を憶う .....	山崎 正明
故田辺清市教授遺影略歴業績自署自筆原稿	
形態・身体機能・運動能力に関する研究(一) .....	田淵 哲
SOME NOTES ON THE LANGUAGE OF SIR GAWAYN AND THE GRENE KNYGHT (1)	
.....	平岡 照明
Northrop Frye の <i>Anatomy of Criticism</i> .....	山本 節子
Seventeenth Century English Lyrics from Donne and Jonson to Waller	
——critical analyses and discussions—— .....	今西 雅章
「園遊会」そのほか ——K. Mansfield の二三の作品について—— .....	西台美智雄

第4集 昭和44(1969)年12月

日月四季絵の主題 ——金剛寺藏日月山水屏風考(一)—— .....	吉田 友之
形態・身体機能・運動能力に関する研究(二) ——12才女子—— .....	田淵 哲
リスパンス・アナライザーによる学習指導 ——Pacing について—— .....	平田 啓一
低開発国におけるインフレーションをめぐる問題	
——特に韓国の場合について—— .....	牧野 博彦
THE GRAMMATICAL NATURE OF THE INFINITIVE AND ITS FUNCTION .....	峯川 紀子
Northrop Frye の <i>Anatomy of Criticism</i> (II) .....	山本 節子
SOME NOTES ON THE LANGUAGE OF MAUGHAM'S LIZA OF LAMBETH .....	平岡 照明
Emily Dickinson の <i>Marriage Poems</i> をめぐって(その一)	
——作品1737の分析と解釈—— .....	中島 完
PROJECTIVE VERSE .....	Sam Grolmes
<i>The Iceman Cometh</i> について .....	奥西 洋子
詩の構造の原理としてのアイロニーに就いて …クレアンス・ブルックス <sup>2</sup> 、(訳)今西 雅章	
K. Mansfield の「見知らぬ人」 .....	西台美智雄

第5集 昭和45(1970)年12月

佐太大神 ——古代出雲における太陽信仰—— .....	吉井 巖
-----------------------------	------

2 原著者。

明治期の知識人の肖像 ——風葉・独歩・漱石の小説から——	山田 博光
寺院・屏風・絵書—大乗院門跡の場合 ——金剛寺蔵日月山水屏風考（二）——	吉田 友之
形態・身体機能・運動能力に関する研究（三） ——13才女子——	田淵 哲
荷風の経済学	星野周一郎
『S/Z』（ロラン・バルト著）読書ノート	西川 祐子
SOME NOTES ON THE LANGUAGE OF SIR GAWAYN AND THE GRENE KNYGHT（Ⅱ）	
	平岡 照明
『ヒューイー』をめぐって	奥西 洋子
Emily Dickinson の Marriage Poems について（その2）	
——作品 528 の分析と解釈——	中島 完
YOUNG AMERICAN POETRY	Sam Grolmes
<i>The Book of Job</i> 覚え書き（Ⅰ）	小林 清一
K. Mansfield の「蠅」 ——覚え書き——	西台美智雄

#### 第6集 昭和46(1971)年12月

青蓮院御蔵『夜鶴庭訓抄』に就いて	田中 塊堂
須田國太郎の作品をめぐりて	藤井 源一
日月屏風作画の場 ——金剛寺蔵日月山水屏風考（三）——	吉田 友之
<i>Barbara Smith</i> の <i>Poetic Closure</i> ——詩のおわり方についての考察——	山本 節子
Contributions of Dr. Jones's <i>Hamlet and Oedipus</i> to the Modern Literary Criticism	
——A Re-assessment——	今西 雅章
<i>The Book of Job</i> 覚え書き（Ⅱ）	小林 清一
アルトーの言語観についての一考察	梶谷 温子
二つのシュルレアリスム誌にあらわれた「東洋」	西川 祐子
形態・身体機能・運動能力に関する研究（四） ——14才女子——	田淵 哲
英語聖書の訳（ヨハネ福音書21章15～17節）をめぐって	川上与志夫
啄木の経済学 ——天才の経済学的研究——	星野周一郎
HIGHER EDUCATION IN THE AGE OF COMMUNICATION	西本三十二

#### 第7集 昭和47(1972)年12月

白紙の画讀の芸術的意義	望月 信成
仮名の成立過程	大橋 清秀
便秘症に関する一考察 ——身体活動及び性格との関係について——	田淵 哲

『ミノトール』誌にあらわれた「未開」

——続・シュルレアリスムの神話——	西川 祐子
Gawain Group (North-West Midland dialect) <i>Patience</i> の英語分析 (1)	
——語彙分類——	平岡 照明
Emily Dickinson の Marriage Poems について (その三)	
——作品 461 の分析と解釈——	中島 完
K. Mansfield の「入り江」-覚書き —— <i>At the Bay</i> ——	西台美智雄
THE UNIVERSITY OF THE AIR IN JAPAN	西本三十二

第 8 集 昭和 48(1973)年 12 月

文学作品の存在	北村ひろ子
ジェフリー・チョーサー作 善女物語	(訳) 平岡 照明
スタール夫人の「北方文学と南方文学」について	梶谷 温子
文学と経済学 ——河上肇の文学——	星野周一郎
国際理解の構造	牧野 博彦
Beat Generation ——Jack Kerouac の <i>On the Road</i> ——	山本 節子
Emily Dickinson の Marriage Poems について (その四)	
——作品 199 の分析と解釈——	中島 完
悲劇作家の喜劇 その I ——オニールとウイリアムズの場合——	奥西 洋子
A Selection from Spenser's <i>Amoretti</i> ——With notes and commentary——	(編) 今西 雅章
バルザックが協力した雑誌「ラ・モード」	
——フランス 19 世紀文学とダンディズム再論 (1) ——	西川 祐子

第 9 集 昭和 49(1974)年 12 月

仮名の成立過程各説	大橋 清秀
頼山陽画像考	岡田 孝男
太宰治の社会学的研究	星野周一郎
Sir Philip Sidney's <i>Astrophel and Stella</i>	
——the dramatic tension between reason and desire——	今西 雅章
“Das älteste Systemprogramm des deutschen Idealismus” (1796 oder 1797) について	
.....	神林 恒道
形態・身体機能・運動能力に関する研究 (五)	
——伸長期に於ける男子の傾向——	田淵 哲

第10集 昭和50(1975)年12月

右慧愚溪の山水画 ——初期室町水墨画における二つの作風について——	太田 孝彦
デュラスの小説における子供たち	梶谷 温子
「トロイラスとクリセイデ」の英語の一考察	
——For he that naught n'asaieth, naught n'acheveth. (Tr. v.784)——	平岡 照明
マンスフィールドの『序曲』-覚書き ——Katherine Mansfield : <i>Prelude</i> ——	西台美智雄
<i>Adam Bede</i> について ——その成立をめぐって——	山本 節子
Emily Dickinson とヨハネ伝 14章2節 ——作品61及び作品127の解釈——	中島 完
身体障害者におけるスポーツ・レクリエーションに関する一考察	
——身体障害者スポーツ施設利用からみた今後の問題点について——	堀 良子
国語科学習指導案の目標における Action Verb の一考察	
——Covert な学習目標から Overt な学習目標へ——	瀬川 武美

第11集 開学十周年記念 昭和51(1976)年12月

発刊にあたって	庄野 英二
イギリス憲法の運用 ——その王制・議会・政党・選挙の実態——	原 龍之助
比較文化の可能性	牧野 博彦
スタール夫人における情熱の位相	梶谷 温子
フロベール、未発表草案「螺旋」の諸問題	幸崎 英男
「應神天皇の誕生」について (一)	吉井 巖
枕冊子の構造	大橋 清秀
俊寛の遺跡 ——二つの硫黄島——	向井 芳樹
おくのほそ道の文章美	浅田善二郎
「牛肉と馬鈴薯」研究ノート	山田 博光
「ゴト」と「ゴトシ」 ——直喩の述語——	内田 賢徳
カフカの「アメリカ」物語の中の形象	北村ひろ子
鎌倉時代末期の円派彫刻と壺井八幡宮の神像	望月 信成
星光寺縁起絵考 ——土佐光信の初期画風形成をめぐって——	吉田 友之
室町時代前期における詩画軸制作の様相 ——柴門新月図の分析 (一)——	太田 孝彦
ラベンナの教会建築とモザイク画	日野 忠夫
ベラスケス《ラス・メニナス》管見	藤井 源一
Sidney と Shakespeare の literary convention への態度	
——二人の sonnet sequences の「不在と別離」のモチーフを比較して——	今西 雅章

<i>Daniel Deronda</i> について ——Jewish Element を中心に——	山本 節子
Hardy の <i>Jude the Obscure</i>	小林 清一
コンラッドの船乗り物における正と負	須賀有加子
K. Mansfield : Prelude の成立 ——The Aloe との比較による考察——	西台美智雄
Tolkien の世界 —— <i>The Lord of the Rings</i> について——	奥西 洋子
エミリ・ディキンソンの作品に現れた小動物	中島 完
Gawayn Group : Northwest Midland Dialect <i>Sir Gawayn and the Greene Knyzt</i> の英語分析	
——語彙分類——	平岡 照明
モーツァルトの社会学	星野周一郎
生涯体育について ——現状から見た生涯体育を達成するための条件——	田淵 哲
高令者における余暇意識・行動について	堀 良子
国語科学習指導案の目標における行為動詞の一考察 (2)	
——中学校の文学的教材の学習目標を対象として——	瀬川 武美
VISUAL ATTENTION 研究	
——“手をつなごう”における Visual Attention Level の変化——	上田 信行

第 12 集 昭和 52(1977)年 12 月

「不覚 (オロカニ)」の訓について	内田 賢徳
金子光晴覚え書 ——『人間の悲劇』について——	米倉 巖
室町時代前期における詩画軸制作の課題 ——柴門新月図の分析 (二) ——	太田 孝彦
A Selection from Sidney's <i>Astrophel and Stella</i>	
——With Notes and Commentary——	(編) 今西 雅章
Thomas Hardy の短篇小説	小林 清一
コンラッドの 'wilderness' 1 ——オールメイヤーとウィレムズ——	須賀有加子
K. マンスフィールドの『序曲』 ——覚書き (承前) ——	西台美智雄
Tolkien の人間像をめぐって	奥西 洋子
OBSERVATIONS ON THE LANGUAGE OF CHAUCER'S <i>THE PARLEMENT OF FOULYS</i> (I)	
	平岡 照明
ボリス・ヴィアンと諧謔の方法 ——L'ÉCUME DES JOURS を中心に——	幸崎 英男
ゴッホの社会学	星野周一郎
John Greenleaf Whittier の讚美歌と信仰 (1)	川上与志夫

第13集 昭和53(1978)年12月

国際理解教育の系譜	牧野 博彦
複合動詞論のために	内田 賢徳
古俳諧注釈(一) ——『大坂獨吟集』三昌独吟百韻——	乾 裕幸
懐風藻にみえる一徴証から編者を推定する	大橋 清秀
『カリアス書簡』におけるシラー美学の基本的構造とその美学史的意義	三浦信一郎
Dreiser の <i>The Bulwark</i> と Quaker の <i>Discipline</i>	田所 茂
Synge の一幕劇 —— <i>The Shadow of the Glen</i> ——	奥西 洋子
コンラッドの 'wilderness' (2) ——クルツ——	須賀有加子
エミリー・ディキンソンの作品に現れた小動物 (2)	中島 完
<i>Felix Holt, The Radical</i> ——評価について——	山本 節子
A Selection from Sidney's <i>Astrophel and Stella</i> ——With Notes and Commentary (Part II)——	今西 雅章
OBSERVATIONS ON THE LANGUAGE OF CHAUCER'S <i>THE PARLEMENT OF FOULYS</i> (II)	平岡 照明
本学々生の健康度に関する一考察 ——抽象的健康度と具体的健康度(身体的健康度)——	田淵 哲
「サラムボオ」の構造	幸崎 英男
John Greenleaf Whittier の讚美歌と信仰 (2)	川上与志夫

第14集 昭和54(1979)年12月

新出の頼山陽画像幅と鴨崖・鰐水	上田 宏範
古俳諧注釈(二) ——『江戸俳諧談林十百韻』第五——	乾 裕幸
安部公房論序説 ——リアリズムと共同体——	山田 博光
金子光晴の一系譜	米倉 巖
ジェフリー・チョーサー『百鳥の集い』訳	平岡 照明
紙背文書の絵師光信 ——『土佐光信』補遺(一)——	吉田 友之
Dreiser の <i>The Bulwark</i> と Quaker の <i>Discipline</i> (2)	田所 茂
K. Mansfield の先達たち ——Joyce と Richardson について——	西台美智雄
<i>On Baile's Strand</i> について	奥西 洋子
<i>Jude the Obscure</i> 中の引用詩句	小林 清一
<i>Felix Holt, The Radical</i> における女性像	山本 節子
Esther Summerson について	須賀有加子

Spenser の <i>Amoretti</i> の独自性 ——Calendrical Structure と Allegorical Technique——	今西 雅章
Typing 指導における提示刺激 Control の効果	
——打数と誤打率について——	平田 啓一、上田 信行、吉川 美智子
公共図書館における高齢者サービスについて	西藤寿太郎
John Greenleaf Whittier の讚美歌と信仰 (3)	川上与志夫
「サラムボオ」の構造 (Ⅱ)	幸崎 英男

## 第 15 集 昭和 55(1980)年 12 月

古俳諧注釈 (三) ——『大坂独吟集』意楽独吟百韻——	乾 裕幸
川端康成の「女性開眼」と「田園交響楽」	大橋 清秀
『青猫』技法の一面	米倉 巖
作品と解釈 I	北村ひろ子
試訳「ヨブ記」(一)	小林 清一
D. H. Lawrence の <i>The white Peacock</i>	松平 勝
傍観者に関して	須賀有加子
Harriet Beecher Stowe と George Eliot	
—— <i>Dred, A Tale of the Great Dismal Swamp</i> を中心に——	山本 節子
<i>The Awntyrs off Arthure at the Terne Wathelyn</i> の語彙調査 ——語源分類——	平岡 照明
Typing 指導における Prompt について	平田 啓一
デュラスにおける視線の問題	梶谷 温子
〈神の教会〉運動 ——その主張と未来展望——	川上与志夫

## 第 16 集 昭和 56(1981)年 12 月

古俳諧注釈 (四) ——『大坂独吟集』由平「唐からし」百韻——	乾 裕幸
荷風論のための序	米倉 巖
よみづめの「もの」	内田 賢徳
作品と解釈 II	北村ひろ子
水色鬚光図について ——その様式と史的位置——	太田 孝彦
閉じられた空間 —— <i>Harmonium</i> から <i>Ideas of Order</i> まで——	酒井 信雄
D.H. ロレンス『狐』試論	西台美智雄
D. H. Lawrence の <i>The Trespasser</i> ——自然への回帰の不可能性——	松平 勝
<i>Impressions of Theophrastus Such</i> について	山本 節子
<i>Adam Bede</i> に表わされた “suffering” について	内田 能嗣



Emily Dickinson の作品に現われた小動物 (3) .....	中島 完
フロベールとサロメ神話 ——「エロディアス」の周辺—— .....	幸崎 英男
『コリヌス』における声の支配 .....	梶谷 温子

#### 第17集 昭和57(1982)年12月

無常の和歌と『方丈記』 .....	佐伯 真一
古俳諧注釈(五) ——『大坂独吟集』由平「芋明月」百韻—— .....	乾 裕幸
志賀文学における即物性 .....	瀬川 武美
アントワーヌ・ヴァトーのフェト・ギャラント .....	島本 浣
図書館利用指導について .....	西田 文男
Cleanness の語彙調査 ——語源による分類—— .....	平岡 照明
親と子の愛憎 ——Long Day's Journey into Night の場合—— .....	奥西 洋子
The Mill on the Floss について .....	山本 節子
D. H. Lawrence の Sons and Lovers ——Personality から Impersonality へ—— .....	松平 勝
創造的態度の研究 ——創造的思考の収束的-拡散的次元と開放性との関係—— .....	西川 隆蔵

#### 第18集 昭和58(1983)年12月

更級日記の形成過程を検証する .....	大橋 清秀
『平家物語』の『愚管抄』依拠 ——四部本研究の予備作業として—— .....	佐伯 真一
古俳諧注釈(六) ——『大坂独吟集』未学「土龍」百韻(三折まで)—— .....	乾 裕幸
ヴァトー作《シテール島への船出》 ——アカデミーとの関係の中から—— .....	島本 浣
Tonic Features and Information in Discourse .....	南 比佐夫
D.H. ロレンスの『虹』 ——新しい自我—— .....	松平 勝
「聖ジュリアン伝」試解 ——フロベールとエディプス神話—— .....	幸崎 英男
『コリヌス』における《待つ》こと .....	梶谷 温子
創造的態度の研究 ——描画完成課題における平凡・独創的反応と開放性との関係について—— .....	西川 隆蔵

#### 第19集 昭和59(1984)年12月

古俳諧注釈(七) ——『大坂獨吟集』未学「土龍」百韻(続)—— .....	乾 裕幸
志賀文学における文の長さの変化 ——即物性との関係において—— .....	瀬川 武美
「山の樹」と「四季」(上) .....	小久保 実
島田謹二と比較文学 .....	山田 博光

ヘーゲルの音楽美学とベートーヴェン	三浦信一郎
Wallace Stevens の“Canonica”詩の位相 ——そのメタ詩的構造について——	酒井 信雄
D. H. Lawrence の『恋する女達』 ——機械文明への絶望感——	松平 勝
Hetty in <i>The Deerslayer</i> ——A Study of Cooper’s Narrative Mode——	山岸 康司
『スウェーデンの G 伯爵夫人の生涯』について	加納 武
創造的パーソナリティに関する文献研究（その 1）	
——認知スタイルについて——	西川 隆蔵

## 第 20 集 昭和 60(1985)年 12 月

ドナルド・キーン氏のかな日記の日付についての考え方と英訳更科日記の本の事	
.....	大橋 清秀
古俳諧註釈（八） ——『大坂獨吟集』悦春「叢」百韻（上）——	乾 裕幸
加藤介春と朔太郎（上） ——雑誌『日本詩人』への前提——	米倉 巖
十二類合戦絵私考 ——堂本家本上巻の画面構成——	吉田 友之
「静寂の王国」へ ——『緋文字』の序文「税関」について——	山岸 康司
デュラスの『辻公園』における <i>voyageur de commerce</i> について	梶谷 温子
パーソナリティにおける開放性-閉鎖性の研究 ——基礎編——	西川 隆蔵

## 第 21 集 開学二十周年記念 昭和 61(1986)年 12 月

二〇周年記念論文集に寄せる	原 龍之助
伴林光平の陵墓研究と考古学 ——光平のみた藤ノ木古墳——	上田 宏範
ホセア預言における姦淫の構造と福音の予見	川上与志夫
更級日記における地名の混乱はなぜ起ったか	大橋 清秀
『平家物語』の『方丈記』依拠	佐伯 真一
古俳諧註釈（九） ——悦春「叢」百韻（下）——	乾 裕幸
二つの恋のゆくえ ——ワーズワスと独歩——	山田 博光
一九二一年の口語自由詩韻律論 ——萩原朝太郎と福士幸次郎をめぐって——	米倉 巖
津村信夫と戸隠	小久保 実
現代小説における「歴史時間」の克服 ——非叙事性への道——	北村ひろ子
男衾三郎絵第一段の画面構成 ——和様琴棋書画図小考——	吉田 友之
如寄筆「西湖図」について	太田 孝彦
〈 <sup>ジャンル</sup> 風俗画〉の用語法	島本 漣
George Eliot の文学観	山本 節子

Thomas Hardy の詩	小林 清一
辛口の小説 —K. Mansfield の一側面-「幸福」と「見知らぬ人」について—	西台美智雄
役割と自我 —オースティンの女主人公からレッシングのケイトへ—	須賀有加子
Some Aspects of Wallace Stevens' Poetry “of the act of the mind”	酒井 信雄
言語発達におけるイントネーション —Halliday の研究を中心に—	南 比佐夫
The Canadian Immersion Programs	
—An Experiment in Second Language Learning—	I. Shortreed
George Eliot の duty について	内田 能嗣
『コリンス』における祝祭と民衆	梶谷 温子
『純な心』とフロベールの小説技法	幸崎 英男
リヒテンベルクのイギリスとの精神的結びつき	
—『キャプテン・クック』とフランス革命—	加納 武
「図書館通論」テキストの検討	西田 文男
書誌階層の研究	吉田 暁史
本学学生の生理に関する一考察 —その1：月経困難症について—	堀 良子

第22集 昭和62(1987)年12月

『予章記』雑考	佐伯 真一
契沖と新撰万葉集 —付、寛文七年版新撰万葉集について—	乾 善彦
ハインリヒ・フォークラー追跡・I —『白樺』とのかかわり—	山田 俊幸
現代小説における「歴史時間」の克服(承前)	
—文学における時間と空間—	北村ひろ子
Emily Dickinson の作品に現れた小動物(4)	中島 完
危うい人間の存在 —『ロビンソン・クルーソーのその後の冒険』について—	河崎 良二
Variation in Foreigner Talk Input —The Effects of Task and Proficiency—	Ian M. Shortreed
“Brother Jacob” に表わされた Morality	内田 能嗣
スタール夫人の『ドイツ論』における〈力〉, 〈エネルギー〉, 〈中心〉	梶谷 温子
パーソナリティにおける開放性-閉鎖性の研究	
—創造活動プレディクターとしての経験への開放性—	西川 隆蔵
文学の分類 —DDCにおけるファシット分析を中心として—	吉田 暁史

第23集 昭和63(1988)年12月

「たけくらべ」についての佐多稲子説の裏付をする	大橋 清秀
-------------------------	-------

ハインリヒ・フォークラー追跡・II

- 「白樺」の浮世絵趣味、ロダン、フォークラーの<sup>ジャポニスム</sup>日本趣味など—— ……山田 俊幸  
International Comparison of Themes in Children's Songs ……Alistair C. G. Seton  
Patrick White's *The Tree of Man* ——The Unity of the Individual and Landscape—— ……有満 保江  
日本における白居易の研究（戦後を中心に） 上  
——『文集』の校勘及び諷論詩・「長恨歌」の研究—— ……下定 雅弘  
Sociolinguistic Attitudes toward Non-native Speakers of Japanese ……Ian Shortreed  
Helen Hooven Santmyer の “...And Ladies of the Club” について ……山本 節子  
幸福な情婦ロクサーナ ……河崎 良二  
D.H. ロレンスの「狐」 ——意識と無意識の相克—— ……松平 勝  
『三つの物語』とフロベールの動物 ……幸崎 英男  
《コリンヌ》における水の作用とローマの街 ……梶谷 温子  
パーソナリティにおける開放性-閉鎖性次元の研究  
——大学生における経験への開放性と「生活に対する情緒的意味構造」—— ……西川 隆蔵

第24集 平成元(1989)年12月

- 和泉式部日記にみえる「一の宮」について ……大橋 清秀  
ハインリヒ・フォークラー追跡・III  
——『白樺』のエクスペリメンタリズム、志賀直哉のクリンガー趣味など—— ……山田 俊幸  
不在の陰影 ——三島由紀夫『仮面の告白』における父と子—— ……佐伯 順子  
メディアと編集性 ——情報と意識—— ……室井 尚  
白居易の感傷詩 ……下定 雅弘  
The Limerick As Popular Poetry ——An Introduction—— ……Alistair C. G. Seton  
IMPRINTS IN THE SAND ——PATRICK WHITE'S VOSS—— ……Yasue Arimitsu  
『ロビンソン・クルーソーの反省録』について（I） ……河崎 良二  
神に愛された人 ——D.H. ロレンスの戯曲『ダビデ』—— ……松平 勝  
K.Ph. モーリッツの「それ自体において完結しているもの」という概念 ……加納 武  
スタール夫人とエロカンス ……梶谷 温子  
パーソナル・コンピュータによる日本語速読訓練の形成的研究  
——提示係数の妥当性について—— ……瀬川 武美、平田 啓一

第25集 平成2(1990)年12月

- 紫式部日記にみえる清少納言について ……大橋 清秀

ハインリヒ・フォークラー追跡・IV

——ハンス＝ヘルマン・リーフさんへの報告—— ……………山田 俊幸  
標題音楽について

——ヴァーグナーの公開書簡『フランツ・リストの交響詩について』の一考察—— ……三浦信一郎  
女王に関する若干の考察 ——女王祿を中心として—— ……………安田 政彦

Maturational Constraints on Language Learning ……………Peter Duppenhaler

日本における白居易の研究

——『白氏文集』が日本文学に与えた影響について I 総論篇—— ……………下定 雅弘

トコロヲの用法について ……………川越菜穂子

*Middlemarch* の Mary Garth について ……………山本 節子

超出の構図 ——「税関」と『緋文字』と『七破風の屋敷』—— ……………山岸 康司

And Now the Weather ……………南 比佐夫

「赤と黒」における「手紙」の役割について

——I部20章「匿名の手紙」を中心に—— ……………幸崎 英男

D. H. Lawrence の『大尉の人形』 ……………松平 勝

On the Empty PP and Operator ——A Case Study of Adverbial NPs—— ……………福田 稔

パーソナル・コンピュータによる日本語速読訓練の形成的研究

——CRTディスプレイだけの訓練効果—— ……………瀬川 武美、平田 啓一

人種差別解消のためのアファーマティブ・アクションと逆差別

——Croson 判決をめぐる—— ……………松田 聡子

本学学生の体育授業中の心拍数からみた運動強度に関する一考察（その1）

——バドミントンについて—— ……………小谷 恭子

第26集 平成3(1991)年12月

『小野篁歌字尽』覚書 ……………乾 善彦

斉明紀建王悲傷歌の抒情について ——「おもしろきいまきのうち」小考—— ……鉄野 昌弘

ハインリヒ・フォークラー追跡・V

——『白樺』とゴッホの文学的理解、泰西版画展覧会まで—— ……………山田 俊幸

シェリングの音楽哲学 ……………三浦信一郎

「隠された意味」を求めて

——『緋文字』と『七破風の屋敷』と『ブライズデイル・ロマンス』—— ……………山岸 康司

リヒテンベルクとフランス革命 ……………加納 武

叙情詩へのデモンストレーション

- 『コリン・クラウト故郷に帰る』一考—— …………… 狩野(溝手)真理  
第二帝政下における検閲規制と『ボヴァリー夫人』裁判 …………… 幸崎 英男  
女子学生の体育実技授業中の心拍数からみた運動強度に関する一考察(その2)  
——ムーブメントについて—— …………… 小谷 恭子  
日本国憲法と家族 …………… 松田 聡子  
闇の神の代理人 ——D. H. Lawrence の「てんとう虫」—— …………… 松平 勝  
Language Planning In Quebec ——Le Grand Expérimenté—— …………… Ian Shortreed  
Lateralization ——Behavioral and Noninvasive Tests, and Pedagogical Implications——  
…………… Peter Duppenhaler

第27集 平成4(1992)年12月

- 『文求堂善本書目』 解題 …………… 神鷹 徳治  
ハインリヒ・フォーゲラー追跡・VI ——「泰西版畫展覽会」—— …………… 山田 俊幸  
平安時代の式部卿 ——その補任をめぐって—— …………… 安田 政彦  
デフォーとペスト ——虚構としての『ペスト流行記』—— …………… 河崎 良二  
*Jude the Obscure* 中の引用・言及詩句 (Revised and Enlarged) …………… 小林 清一  
天気予報の音声テキスト再考 …………… 南 比佐夫  
18世紀のパリにおける競売会・画商・カタログ …………… 島本 澁  
*Hamlet* と懐疑主義 ——その時代性—— …………… 狩野(溝手)真理  
艾蕪試論(一) ——抗日戦初期—— …………… 杉本 雅子  
パーソナリティの開放性-閉鎖性に関する研究  
——Rasmussen の EIS による自我同一性との関係について—— …………… 西川 隆蔵  
原始への回帰の不可能性 ——D. H. Lawrence の『馬で去った女』—— …………… 松平 勝  
*Hawthorne's Mysterious Romances* …………… 山岸 康司  
Technical Analysis of Transfer-Printed Igezara Porcelain …………… Alistair C.G. Seton

第28集 平成5(1993)年12月

- 九世紀の橘氏 ——嘉智子立後の前後を中心として—— …………… 安田 政彦  
天平勝宝八歳六月一七日作歌六首をめぐって …………… 鉄野 昌弘  
白居易の中書制誥 ——その旧体と新体の分類について—— …………… 下定 雅弘  
パトリック・ホワイトの『ザ・ソリッド・マンダラ』  
——Mandala と Divinity—— …………… 有満 保江

彫刻台座の消失についての試論 ——ミニマリズムの視点から——	永草 次郎
George Eliot と Barbara Bodichon	山本 節子
通常強勢への三つの反例 ——Cruttenden の提議をめぐって——	南 比佐夫
英訳者の論理	前田 尚作
ファシット分類法における“ファシット”および“サブファシット”概念の検討	吉田 暁史
敗北者の勝利 ——D. H. Lawrence の「絶対にお断り」——	松平 勝
揺籃期の中国木刻 ——一八芸社と魯迅を中心に——	杉本 雅子
‘Providence’ と ‘foreknowing’	
——『レーモン・スポンの弁護』と『ハムレット』——	狩野(溝手)真理

## 第 29 集 平成 6(1994)年 12 月

古代貴族婚姻系図稿 ——「皇親」部——	安田 政彦
翻刻『世話早学文』	乾 善彦
聖衆来迎寺本六道絵「人道不浄相図」考	加須屋 誠
白居易の「与元九書」をどう読むか？	
——「四分類」の概念の成立をめぐって——	下定 雅弘
バーサ／アントワネット・メイスンの声、ジェーン・エアの声	
——Jean Rhys <i>Wide Sargasso Sea</i> にみる非理想主義的ポストコロニアリズム——	中村 和恵
中国人日本語学習者の誤用文の研究	彭 佳紅
Crèvecoeur のアメリカ ——霧散する「ヨーロッパの夢」——	山岸 康司
辻野久憲作品目録稿（附、年譜）	山田 俊幸
パーソナリティの健康性に関する研究（その 1）	
——健康性評価をめぐる現状とその問題点についての検討——	西川 隆蔵
教育実習生の指導の力量形成を目的としたチェック・リスト	
——中学校・高等学校の国語科の場合——	瀬川 武美
魯迅主催木刻講習会 ——その背景をめぐる一考察——	杉本 雅子
女子学生の体育実技授業中の心拍数からみた運動強度に関する一考察（その 3）	
——新体操について——	小谷 恭子

## 第 30 集 平成 7(1995)年 12 月

古代貴族婚姻系図稿 ——「源氏」部①——	安田 政彦
宮廷女房と〈色好み〉 ——『とはずがたり』における様相——	今関 敏子

[資料] 胡刻本文選の石印本について	神鷹 徳治
聖衆來迎寺本六道絵「畜生道図」私見	加須屋 誠
井伏鱒二の翻訳作品における創意	彭 佳紅
<i>Romola</i> 再考	山本 節子
<b>Crèvecoeur</b> のマスクとヴィジョン	山岸 康司
Estuary English について	南 比佐夫
辻野久憲訳、ヴァレリイ『詩の本質』の周辺	山田 俊幸
英語 CAI における形態素解析	平田 啓一
本学々生の健康・体力づくりに関する実施状況等について	
——1990年度～1995年度の推移——	田淵 哲
文章構造の論理的推敲を支援する指導方法	
——ISM教材構造化法の適用——	瀬川 武美、佐藤 隆博
第二帝政下における検閲規制と『ボヴァリー夫人』裁判	
——未刊行草案『ナポレオン三世治下』——	幸崎 英男
全国木刻聯合展覧会へ向けての木刻活動 (1)	
——上海木刻研究会に関する一考察——	杉本 雅子

### 第31集 平成8(1996)年12月

和泉式部日記ともう一つの歌日記	大橋 清秀
詩人庄野英二と雁翼 ——訳詩「愛について」をめぐって——	彭 佳紅
全国木刻聯合展覧会 ——魯迅・葉靈鳳・唐訶——	杉本 雅子
根源への回帰 ——ニーチェとドイツ表現主義美術——	大森 淳史
アメリカ論としての <i>Common Sense</i>	山岸 康司
英訳と代用表現	前田 尚作
初期『白樺』の運動と翻訳文化 ——文学としての絵画——	山田 俊幸
“This is, and is not, Cressid” —— <i>Troilus and Cressida</i> 試論——	溝手 真理
[判例研究] 政党除名の司法審査	
——最高裁第一小法廷平成7年5月25日判決——	松田 聡子
パーソナリティの健康性に関する研究 (その2)	
——有機-発達論的立場と評価の枠組みについて——	西川 隆蔵
学生が相互に出題した漢字テストの結果に基づく理解度と出題傾向の考察	
——学習者-出題者で構成したS-P表分析——	瀬川 武美
雌雄ラットの下垂体 ——副腎機能における女性ホルモンの影響——	小谷 恭子



Japanese Students' Perceptions of the Term "Kokusai Shakai" (International/Intercultural Society)  
.....Peter Duppenthaler

第 32 集 平成 9(1997)年 12 月

- 教育論と思想史 ——近代中国の場合—— .....川尻 文彦  
古代貴族婚姻系図稿 ——「源氏」部②—— .....安田 政彦  
キとケリが示す事象の生起と認識と発話時との時間的距離について  
——土佐日記を資料として—— .....加藤 浩司  
『白香山詩集』石印諸本小考 .....神鷹 徳治  
『マクベス』における血の表象と狂気  
——セネカの『狂えるヘラクレス』と比較しつつ—— .....今西 雅章  
訳詩と「対話」 ——雁翼詩の庄野英二訳をテキストに—— .....彭 佳紅  
広州現代版画会に関する一考察 ——《現代版画》から《木刻界》へ—— .....杉本 雅子  
*Silas Marner* について .....山本 節子  
1910～1911 年の装幀本 .....山田 俊幸  
理念と体罰 ——学校教育の一機能—— .....薬師院仁志  
アファーマティブ・アクションの違憲審査基準  
——人種的多様性論の行方—— .....松田 聡子  
「こと」と ECM 構文 .....福田 稔  
本学体育実技受講生の体力水準と運動効果について .....小谷 恭子  
Culture-specific content schema  
——Native and nonnative preconceptions of the term "international society"—— .....Peter Duppenthaler

第 33 集 平成 10(1998)年 12 月

- 古代貴族婚姻系図稿 ——「源氏」部③—— .....安田 政彦  
河北省磁県地区における東魏北齊壁画墓 ——その分布と壁画様式をめぐって—— .....古田 真一  
《中国婦女》のテーマに見る中国女性の現状 ——アプローチの一つの試み—— .....杉本 雅子  
ジェファソンの「独立」と比喩としての奴隷制について .....山岸 康司  
音調型の意味の多様性について .....南 比佐夫  
装幀本の 1912～1914 年 .....山田 俊幸  
二つの過去 (2) 「～たらしい」と「～らしかった」  
——ある種のモダリティ形式の過去化について—— .....加藤 浩司  
本学学生の骨強度と体力診断テスト測定値との関係 .....小谷 恭子

王韜と「民」の発見 ——清末の体制改革論とナショナリズム——	川尻 文彦
A Three-step Approach to Determining Test Reliability	Peter Duppenthaler

第 34 集 平成 11(1999)年 12 月

『権記』にみえる親王参詣記事について	安田 政彦
大学におけるセクシュアル・ハラスメントの法理	松田 聡子
《中国婦女》にみる下崗問題	
——1996 年『下崗後の苦悩から抜け出して』を中心に——	杉本 雅子
本学体育実技受講生の体格・体力の年次推移	
——1980 年度から 1994 年度の 15 年間の分析——	小谷 恭子
Peter Mühlhäusler の言語観	岡村 徹
Harriet Beecher Stowe の <i>My Wife and I</i>	山本 節子
中原中也関係文献クロニクル(試案) 1920~1934	山田 俊幸
国語科教育における基礎・基本の指導	
——「言葉の学び」をさせる発問：学力のつかない発問、学力のつく発問——	瀬川 武美
“Internationalism” and English as an International Language	
——A Guide for Students——	Peter Duppenthaler

「帝塚山学院大学研究論集〔文学部〕」

第 35 集 平成 12(2000)年 12 月

うつほ物語国譲中「昔はちきこえしなめりしにだに」の解釈	加藤 浩司
国語学力形成の支援となる「板書」のあり方に関する一考察	瀬川 武美
異なった柔軟性測定法の比較検討	
——長座位体前屈、立位体前屈、伏臥上体そらしを対象として——	小谷 恭子
“You are Halfway Home”：おとぎ話のフェミニズム	溝手 真理
ジェファソンの建国とピューリタンの伝統について	山岸 康司
スタイルとしての上昇調および高ピッチ	南 比佐夫
Romaji Data Base for Matsuo Bashō (1)	(compiled by) Alistair C. G. Seton
A Survey of Research on Language Learning Strategies	
——Implications and Applications——	Peter Duppenthaler

第 36 集 平成 13(2001)年 12 月

皇子女の出生順について ——平城皇子女から清和皇子女まで——	安田 政彦
--------------------------------	-------

沖山光の構造的読解学習と 21 世紀国語科教育との接点 .....	瀬川 武美
本学創設時から現在までに体育実技を受講した学生の体格・体力の年次推移 ——1966 年度から 1999 年度までの 34 年間の分析—— .....	小谷 恭子
“Discipline” の可能性 ——教育書としての <i>The Faerie Queene</i> —— .....	溝手 真理
『ふらんす物語』における虚構性の保証としての「ビジョン」 .....	禹 朋子
Some Factors on the Decline of Kanaka English .....	Toru Okamura
A Review of Studies on the Effect of Different Types of Feedback on Student Writing .....	Peter Duppenthaler

**第 37 集** 平成 14(2002)年 12 月

仮名貞観政要における増補部分 .....	加藤 浩司
多変量解析を用いた新体力テストの分析 .....	小谷 恭子
授業報告 コンピュータを利用したフランス語中級授業の試み ——教材作成・情報処理のヒントならびに CALL 教室施設の代替手段について—— .....	禹 朋子
Journal Writing as a Language Teaching Tool .....	Peter Duppenthaler

**第 38 集** 平成 15(2003)年 12 月

大江健三郎と北方少数民族 ——われらの内なるギリヤーク人—— .....	一條 孝夫
仮名貞観政要における再読文字の和訳状況 ——他の仮名書き資料と比較して—— .....	加藤 浩司
和泉守護関連史料の再検討 .....	森田 恭二
『権記』記載の出家・死去記事 .....	安田 政彦
文学的文章教材における「言葉の学び」を目的としたテスト・発問 .....	瀬川 武美
本学学生の体格測定・体力テスト・骨強度測定 .....	小谷 恭子
太平洋諸島の言語と社会 .....	岡村 徹
フランス語教材作成の実例 ——初級会話用テキストと音声ファイル作成の実際—— .....	禹 朋子、江口 伸
母親語における声の特徴について ——海外における研究の動向—— .....	南 比佐夫
Elizabeth I の結婚問題をめぐって ——政治的判断と結婚—— .....	溝手 真理
A Study of the Effect of Three Different Types of Feedback on Writing ——Part 1 - Research Questions, Participants, Site, Materials, and Procedures—— .....	Peter Duppenthaler

第39集 平成16(2004)年12月

- 原作と映像の共軌 ——「赤西蠣太」の場合—— …………… 一條 孝夫  
冷泉為村の月照寺奉納和歌 ——明和七年奉納和歌をめぐって—— …………… 神道 宗紀  
文献資料に見る「風流」<sup>ふりゅう</sup>の成立と変遷 …………… 森田 恭二  
日本明治时期的中国人汉语教师 …………… 王 順洪  
学校における情報化推進の組織体制  
——学校組織における情報技術の影響の分析—— …………… 福本 昌之  
新しい視点からみた骨強度指数 ——本学学生を測定対象として—— …………… 小谷 恭子  
オーストラリアの言語と社会 …………… 岡村 徹  
プルーストと堀辰雄 ——「燃ゆる頬」の主題をめぐって—— …………… 禹 朋子  
A Study of Yatate …………… Alistair Seton  
A Study of the Effect of Three Different Types of Feedback on Writing  
——Part 2 - Data Analysis—— …………… Peter Duppenhtaler

第40集 平成17(2005)年12月

- 「城の崎にて」の境界領域 …………… 一條 孝夫  
引用・故事・典拠句の取捨から見た仮名貞観政要の和訳態度 …………… 加藤 浩司  
守護細川氏と北摂津の国人 ——今西家文書の再検討—— …………… 森田 恭二  
学校における情報技術の活用評価に関する調査研究  
——学校の情報化における組織ツールとしてのLANに注目して—— …………… 福本 昌之  
本学学生の体力診断テストと生活習慣の相互関係 …………… 小谷 恭子  
中国医学の現状と課題 ——伝統文化の視点から—— …………… 杉本 雅子  
『失われた時を求めて』初期受容の一側面  
——1920年代前半のプロイト理論とロシア小説との関連において—— …………… 禹 朋子  
A Study of the Effect of Three Different Types of Feedback on Writing  
——Part 3 - Discussion and Conclusions—— …………… Peter Duppenhtaler

第41集 平成18(2006)年12月

- 河口慧海『西藏旅行記』の一景 ——女難、あるいは色欲の問題をめぐって—— …………… 一條 孝夫  
万葉集「末之腹野尔鷹田為」考 ——卷十一・二六三八番歌の解釈をめぐって—— …………… 神道 宗紀  
『私心記』に見る枚方寺内町 …………… 森田 恭二  
絵葉書にみる明治イマジユリイの形成と国粹主義の時代へ (一九〇六～一八)  
……………(資料提供) 山田 俊幸、(執筆) 安田 政彦

反省的实践を促す教師教育プログラムの研究

- 教育実習における協働授業と省察—— ……………瀬川 武美、福本 昌之  
体育関連科目受講生を対象とした体力標準値の作成 ……………小谷 恭子  
近代大阪の小売商 ——公設市場からスーパーマーケットまで—— ……………薬師院仁志  
Historical Analysis of Japan's Kendi Kilns and Output ……………Alistair Seton  
A Comparison of Essays Written by Native and Nonnative Speakers  
of English on the Topic *Kokusai Shakai* (International Society) ……………Peter Duppenthaler

第42集 平成19(2007)年12月

- 大江健三郎と川端康成 ……………一條 孝夫  
和泉守護所の位置を探る ……………森田 恭二  
絵葉書にみる大正時代の博覧会 ……………(資料提供) 山田 俊幸、(執筆) 安田 政彦  
教員志望学生に求められる教員としての資質能力の育成に関する研究  
——教職総合演習での「野菜づくり」を通して—— ……………瀬川 武美、湯藤 定宗  
体育関連科目受講男子学生の体力診断 ……………小谷 恭子  
中医取消論争に見る中国伝統文化 ——その現状と問題点—— ……………杉本 雅子  
博多弁と福岡県離島の関係について ——能古弁におけるコイナー化の可能性—— …岡村 徹  
抽象とシュルレアリスム (上)  
——1930年代におけるハーバート・リードの芸術哲学を中心に—— ……………大森 淳史  
*La réception d'À la recherche du temps perdu autour de la Nouvelle Revue Française*  
……………Tomoko Boongia Woo  
Vocabulary Acquisition ——The Research and Its Pedagogical Implications—— ……………Peter Duppenthaler

第43集 平成20(2008)年12月

- 大江健三郎と六〇年代の〈アメリカ〉  
——ラルフ・エリスンのいわゆる〈多様性<sup>ダイバシティ</sup>〉をめぐって—— ……………一條 孝夫  
春草 ——愁の表象—— ……………福島 理子  
『大乘院寺社雑事記』に見る中世奈良の諸職人 ……………森田 恭二  
梨本宮依都子妃<sup>3</sup>収集絵葉書に関する予備的考察 ……………山田 俊幸、安田 政彦  
[研究ノート] 集団語の研究 ——菊池恵楓園の場合—— ……………岡村 徹

3 正しくは「伊都子妃」。

アメリカ合衆国における教育改革に関する一考察

- ミネソタ州を事例として—— …………… 湯藤 定宗  
「隠れたカリキュラム」の考察 その1  
——1960年代以降の大人の意識・精神性—— …………… 瀬川 武美  
本学女子学生を対象とした体格指数ならびに体力の分析  
——2003年度から2006年度を対象として—— …………… 小谷 恭子  
作品受容における文芸新聞の役割  
——『失われた時を求めて』とヌーヴェル・リテレル紙(1922-1954)—— …………… 禹 朋子  
抽象とシュルレアリスム(下)  
——1930年代におけるハーバート・リードの芸術哲学を中心に—— …………… 大森 淳史

「帝塚山学院大学研究論集〔リベラルアーツ学部〕」

第44集 平成21(2009)年12月

- 「狩猟で暮したわれらの先祖」論 ——古層への想像力—— …………… 一條 孝夫  
摂津国人茨木氏の盛衰 …………… 森田 恭二  
女学生と「乙女」絵葉書 …………… 山田 俊幸、安田 政彦  
「研究ノート」対馬方言の形容詞語尾について ——方言圏論の可能性—— …………… 岡村 徹  
「隠れたカリキュラム」の考察 その2  
——幼児期の環境、大人の意識変革を—— …………… 瀬川 武美  
韓国キリスト教の死後儀礼(追悼式) ——儒教文化との融合と対立—— …………… 古田 富建  
『失われた時を求めて』受容と同時代の評論家達  
——エドモン・ジャルー、ポール・スーデー、フェルナン・ヴァンデレム—— …………… 禹 朋子

第45集 平成22(2010)年12月

- 石井研堂『日本漂流譚』の試み ——孫太郎漂流記の場合—— …………… 一條 孝夫  
『古事記』・『日本書紀』に載録された「海幸山幸神話」の近代における受容の諸相  
——ちりめん本『THE PRINCES FIRE-FLASH & FIRE-FADE.』と巖谷小波『玉の井』を中心にして——  
…………… 及川 智早  
鈴木泰氏による拙著『キ・ケリの研究』批判に対する反論 …………… 加藤 浩司  
教員志望学生の実像 ——エンパワメントが必要な学生たち—— …………… 瀬川 武美  
本学体育関連科目受講生の体力 ——2007年度から2010年度を対象として—— …………… 小谷 恭子  
ナウル・ピジンの類型論的位置づけ ——特に語順の特徴を中心に—— …………… 岡村 徹

第46集 平成23(2011)年12月

- 近世の人面瘡と谷崎の「人面疽」……………福島 理子、宮内 淳子  
『文徳実録』における災害記事……………安田 政彦  
全学情報教育システムにおける取り組み  
——狭山キャンパス ICT 活用推進事業を中心として——  
……………吉田 大介、原邊 祥弘、喜家村 奨、戸上 良弘  
帝塚山学院大学 新授業評価アンケート作成の試み  
……………原邊 祥弘、西川 隆蔵、溝手 真理、近藤 睦美  
米国チャータースクールにおけるアクレディテーションに関する研究 (I)  
——AdvancED による PACT 評価を事例として——……………湯藤 定宗  
韓国キリスト教系新宗教のイエス観  
——李龍道の晩年期の再考察とその系譜団体のイエス観——……………古田 富建  
ハーバート・リードにおけるアナーキズムの美学 (上)……………大森 淳史

第47集 平成24(2012)年12月

- 芥川龍之介と漢詩  
——『春服』に見る「詩眼」とその変容を中心に——……………福島 理子、宮内 淳子  
本学体育関連科目受講学生の体力テストと身体組成測定 of 相互関係  
——2011・2012 年度学生を対象として——……………小谷 恭子  
日韓断り談話における不可表現マーカー ——対人関係調節の観点から——……………任 炫樹  
徐南洞民衆神学の「反神学」のための方法論 ——「民衆」「典拠」「合流」——……………古田 富建  
ハーバート・リードにおけるアナーキズムの美学 (下)……………大森 淳史

第48集 平成25(2013)年12月

- 北田薄氷作品に関する一考察 ——我意を貫こうとする女性たちを中心に——……………伊藤かおり  
ケリ読み添え箇所 of 訓法一致率による法華経諸本の分類……………加藤 浩司  
日本の「ねむり姫」絵本に見る再話・翻案をめぐって ——グリム版の場合——……………横川寿美子  
高等学校普通科における「キャリア教育」の在り方と教育的意味  
——「生きること」「働くこと」「学ぶこと」の三位一体化——……………瀬川 武美  
民衆神学におけるイエス ——徐南洞のイエス観——……………古田 富建  
『失われた時を求めて』受容史  
——ゴンクール賞受賞から作者の死まで (その1) ——……………禹 朋子

第49集 平成26(2014)年12月

- 泉鏡花「金時計」論 .....伊藤かおり
- 泉鏡花『春昼』論 ——花をめぐる付合的発想について—— .....宮内 淳子、福島 理子
- 興教寺所蔵の唐代石刻線画「搗練図」に関する考察  
——唐代仕女図における搗練の図様めぐって—— .....古田 真一
- 本学学生の体力と身体に関するイメージ調査との関係 .....小谷 恭子
- 韓国語学習者に見る依頼表現の学習プロセス及びその特徴  
——日韓発行の中級韓国語教材を中心に—— .....任 炫樹
- 『失われた時を求めて』受容史  
——ゴンクール賞受賞から作者の死まで(その2)—— .....禹 朋子

第50集 平成27(2015)年12月

- 奉納和歌に見る言語遊戯 .....神道 宗紀
- 「帝塚山学院大学研究論集」総目次・執筆者総索引(第1集～第50集)
- 韓国語の「勧誘」文型に関する一考察  
——日韓で発行された韓国語教材の比較を中心に—— .....任 炫樹
- 韓国語の「文字と発音」導入の問題について  
——日本語母語話者のための韓国語教科書の分析を通して—— .....川越菜穂子



## 執筆者総索引

執筆者名	収録号数	執筆者名	収録号数
(あ行)		加藤 浩司	32, 33, 35, 37, 38, 40, 45, 48
浅田 善二郎	2, 11	加納 武	19, 21, 24, 26
有満 保江	23, 24, 28	狩野(溝手)真理	→溝手 真理
一條 孝夫	38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45	神鷹 徳治	27, 30, 32
伊藤 かおり	48, 49	川上 与志夫	6, 12, 13, 14, 15, 21
乾 裕幸	13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21	川越 菜穂子	25, 50
乾 善彦	22, 26, 29	河崎 良二	22, 23, 24, 27
今関 敏子	30	川尻 文彦	32, 33
今西 雅章	1, 2, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 12, 13, 14, 32	神林 恒道	9
任 炫樹	47, 49, 50	北村 ひろ子	8, 11, 15, 16, 21, 22
禹 朋子	36, 37, 38, 39, 40, 42, 43, 44, 48, 49	喜家村 奨	46
上田 信行	11, 14	幸崎 英男	11, 12, 13, 14, 16, 18, 21, 23, 25, 26, 30
上田 宏範	14, 21	小久保 実	19, 21
内田 賢徳	11, 12, 13, 16	小谷 恭子	25, 26, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 45, 47, 49
内田 能嗣	16, 21, 22	小林 清一	2, 5, 6, 11, 12, 14, 15, 21, 27
江口 伸	38	近藤 睦美	46
及川 智早	45	(さ行)	
王 順洪	39	西藤 寿太郎	14
太田 孝彦	10, 11, 12, 16, 21	佐伯 順子	24
大橋 清秀	7, 9, 11, 13, 15, 18, 20, 21, 23, 24, 25, 31	佐伯 真一	17, 18, 21, 22
大森 淳史	31, 42, 43, 46, 47	酒井 信雄	16, 19, 21
岡田 孝男	2, 9	佐藤 隆博	30
岡村 徹	34, 36, 38, 39, 42, 43, 44, 45	島本 澁	17, 18, 21, 27
奥西 洋子	4, 5, 8, 11, 12, 13, 14, 17	下定 雅弘	23, 24, 25, 28, 29
(か行)		庄野 英二	11
梶谷 温子	6, 8, 10, 11, 15, 16, 18, 20, 21, 22, 23, 24	神道 宗紀	39, 41, 50
加須屋 誠	29, 30	須賀 有加子	11, 12, 13, 14, 15, 21
		杉本 雅子	27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 40, 42

瀬川 武美 10, 11, 17, 19, 24, 25, 29,  
30, 31, 34, 35, 36, 38, 41,  
42, 43, 44, 45, 48

(た行)

田所 茂 13, 14  
田中 塊堂 6  
田淵 哲 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 13,  
30  
鉄野 昌弘 26, 28  
戸上 良弘 46

(な行)

永草 次郎 28  
中島 完 4, 5, 7, 8, 10, 11, 13, 16,  
22  
中村 和恵 29  
西川 祐子 2, 5, 6, 7, 8  
西川 祐子 1  
西川 裕子 →西川 祐子  
西川 隆蔵 17, 18, 19, 20, 22, 23, 27,  
29, 31, 46  
西田 文男 17, 21  
西台 美智雄 3, 4, 5, 7, 10, 11, 12, 14,  
16, 21  
西本 三十二 6, 7

(は行)

原 龍之助 1, 11, 21  
原邊 祥弘 46(2 篇収録)  
日野 忠夫 2, 11  
平岡 照明 3, 4, 5, 7, 8, 10, 11, 12,  
13, 14, 15, 17  
平田 啓一 4, 14, 15, 24, 25, 30  
福島 理子 43, 46, 47, 49  
福田 稔 25, 32  
福本 昌之 39, 40, 41  
藤井 源一 6, 11  
古田 真一 33, 49

古田 富建 44, 46, 47, 48  
ブルックス クレアンス 4  
彭 佳紅 29, 30, 31, 32  
星野 周一郎 2, 5, 6, 8, 9, 11, 12  
堀 良子 10, 11, 21

(ま行)

前田 尚作 28, 31  
牧野 博彦 1, 2, 4, 8, 11, 13  
松田 聡子 25, 26, 31, 32, 34  
松平 勝 15, 16, 17, 18, 19, 23, 24,  
25, 26, 27, 28  
三浦 信一郎 13, 19, 25, 26  
溝手 真理 26, 27, 28, 31, 35, 36, 38,  
46  
南 比佐夫 18, 21, 25, 27, 28, 30, 33,  
35, 38  
源 豊宗 1  
峯川 紀子 4  
宮内 淳子 46, 47, 49  
向井 芳樹 3, 11  
室井 尚 24  
望月 信成 7, 11  
森 磯吉 1  
森田 恭二 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44

(や行)

薬師院 仁志 32, 41  
安田 政彦 25, 27, 28, 29, 30, 32, 33,  
34, 36, 38, 41, 42, 43, 44,  
46  
山岸 康司 19, 20, 25, 26, 27, 29, 30,  
31, 33, 35  
山崎 正明 3  
山田 俊幸 22, 23, 24, 25, 26, 27, 29,  
30, 31, 32, 33, 34, 41, 42,  
43, 44  
山田 博光 5, 11, 14, 19, 21

山本 節子	2, 3, 4, 6, 8, 10, 11, 13, 14, 15, 16, 17, 21, 23, 25, 28, 30, 32, 34
湯藤 定宗	42, 43, 46
横川 寿美子	48
吉井 巖	3, 5, 11
吉川 美智子	14
吉田 暁史	21, 22, 28
吉田 大介	46
吉田 友之	4, 5, 6, 11, 14, 20, 21
米倉 巖	12, 14, 15, 16, 20, 21

(A~Z)

Arimitsu, Yasue	→有満 保江
Brooks, Cleanth	→ブルックス クレアンス
Duppenthaler, Peter	25, 26, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42
Fukuda, Minoru	→福田 稔
Grolmes, Sam	4, 5
Hiraoka, Teruaki	→平岡 照明
Imanishi, Masaaki	→今西 雅章
Minami, Hisao	→南 比佐夫
Minekawa, Noriko	→峯川 紀子
Nishimoto, Mitoji	→西本 三十二
Okamura, Toru	→岡村 徹
Sakai, Nobuo	→酒井 信雄
Seton, Alistair	→Seton, Alistair C. G.
Seton, Alistair C. G.	23, 24, 27, 35, 39, 41
Seton, Alistair C.G.	→Seton, Alistair C. G.
Shortreed, I.	→Shortreed, Ian M.
Shortreed, Ian	→Shortreed, Ian M.
Shortreed, Ian M.	21, 22, 23, 26
Woo, Tomoko Boongja	→禹 朋子
Yamagishi, Koji	→山岸 康司